

報道機関各位

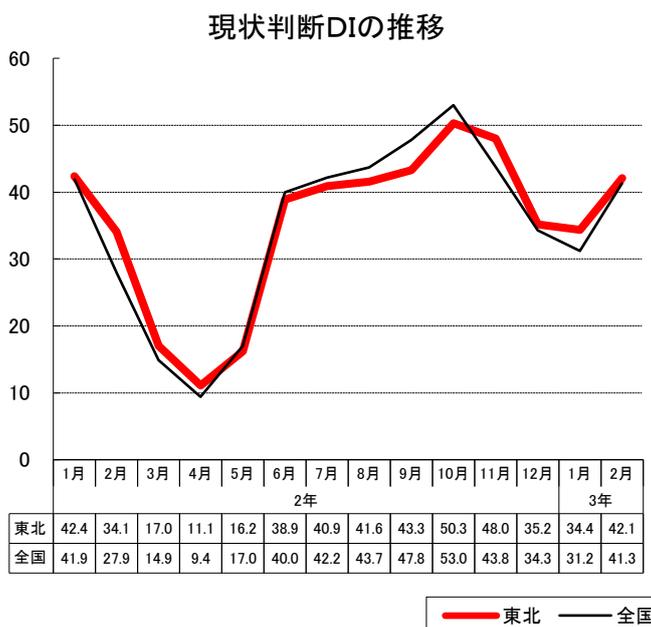
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年2月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和3年2月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

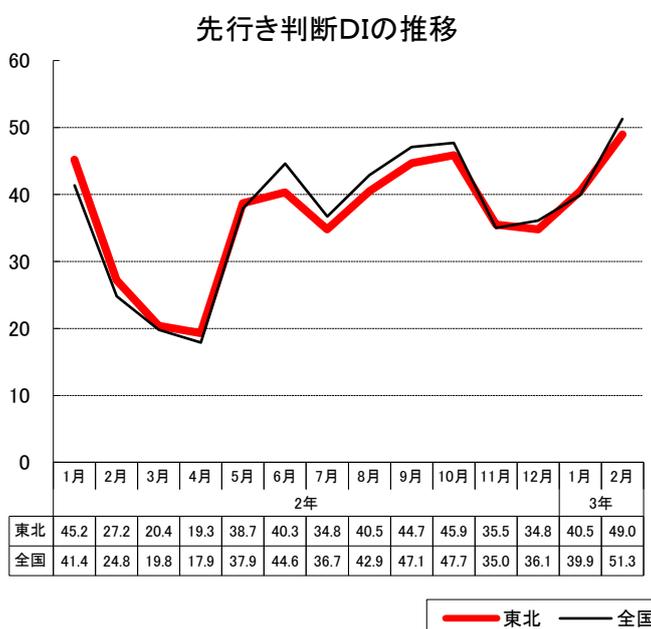
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「42.1」と4か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+7.7ポイントと大幅に上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性 季節調整値）

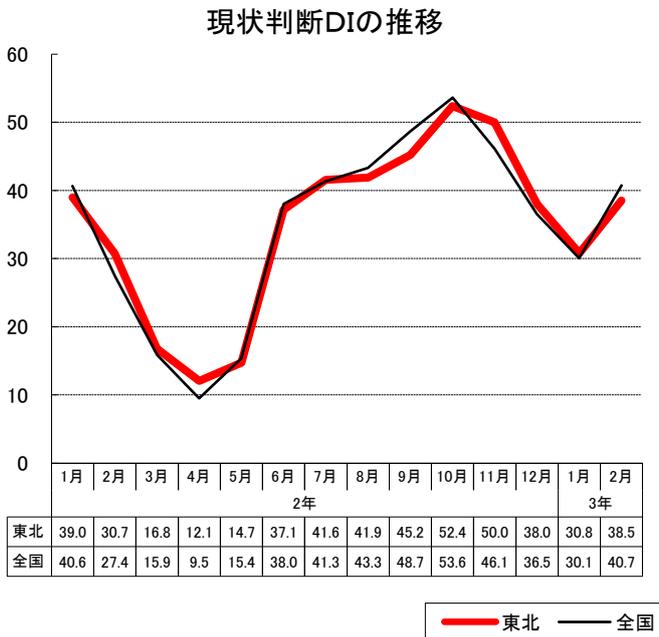
先行き判断DIは「49.0」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+8.5ポイントと大幅に上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「38.5」と4か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+7.7ポイントと大幅に上昇した。



○家計動向関連…一般小売店、乗用車・自動車備品販売店の業種でDIが前月を下回ったが、コンビニ、高級レストラン、通信会社等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「35.4」(+7.7)と、4か月ぶりに前月を上回った。

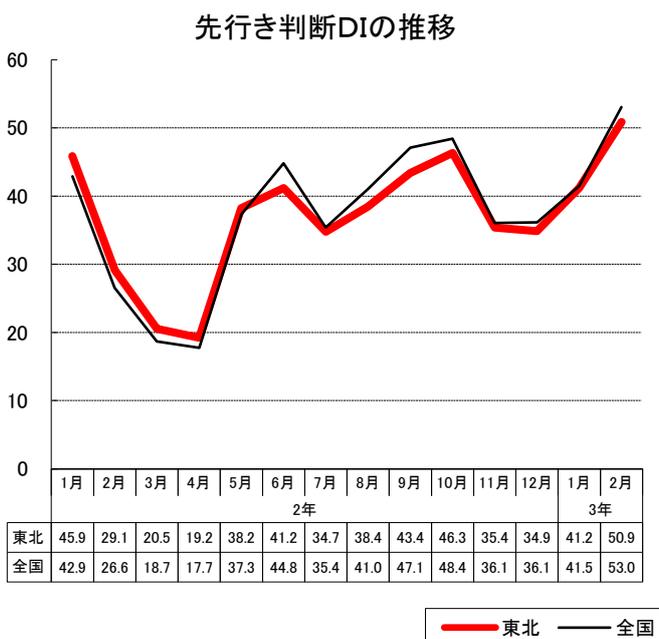
○企業動向関連…建設業、輸送用機械器具製造業、出版・印刷・同関連産業の業種でDIが前月を下回ったが、広告代理店・広告業協会、輸送業、食料品製造業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「45.6」(+10.8)と、3か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「45.0」(+2.5)と、4か月ぶりに前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「50.9」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+9.7ポイントと大幅に上昇した。



○家計動向関連…スーパー、衣料品専門店、住関連専門店の業種でDIが前月を下回ったが、コンビニ、一般レストラン等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「50.8」(+9.5)と、2か月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…通信業の業種でDIが前月を下回ったが、食料品製造業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「54.4」(+11.2)と、2か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「45.0」(+7.5)と、2か月連続で前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	2年												3年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北現状	39.0	30.7	16.8	12.1	14.7	37.1	41.6	41.9	45.2	52.4	50.0	38.0	30.8	38.5
家計動向関連	38.2	31.6	17.0	14.5	16.1	41.9	42.8	42.9	44.6	51.2	47.7	35.1	27.7	35.4
企業動向関連	40.7	27.3	17.1	8.3	11.4	27.9	40.4	40.4	47.7	55.1	56.6	44.1	34.8	45.6
雇用関連(参考)	40.8	31.3	15.0	1.6	11.8	23.7	36.3	38.2	45.0	55.0	52.5	45.0	42.5	45.0

（2）先行き判断D I

	2年												3年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北先行き	45.9	29.1	20.5	19.2	38.2	41.2	34.7	38.4	43.4	46.3	35.4	34.9	41.2	50.9
家計動向関連	46.7	29.9	22.9	21.2	40.0	42.1	34.1	38.1	41.1	44.1	32.4	32.4	41.3	50.8
企業動向関連	45.7	22.7	16.4	15.9	32.6	39.0	37.5	40.4	48.5	50.0	44.1	42.6	43.2	54.4
雇用関連(参考)	40.8	35.0	13.8	10.9	36.8	39.5	33.8	36.8	48.8	53.8	38.8	36.3	37.5	45.0

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和3年2月25日～28日

回答者数 172/189 名、回答率 91.0%（全国 1,812/2,050 名、88.4%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（百貨店）…食品関連の催物開催時は来客数も増え、店内も年末年始に比べれば、活気が出てきている。休日など近場で余暇を過ごす人が、百貨店の物産展に来場しているようである。ただ、13日の福島沖地震により、その後3日程度は影響が出て、来客数は減少した。

（衣料品専門店）…各種学校での入学式開催が増えてきたことで、スーツ需要が回復してきている。

（家電量販店）…前年比ベースで来客数が増加している。近隣のショッピングモールでも駐車場が土日満車に近い状況となっている。

（住関連専門店）…新型コロナウイルス感染者が減少傾向になってきたため、来客数、売上共に例年に近い数字に戻ってきているが、商談に要する時間は以前よりずっと短縮されている。

（タクシー運転手）…今月に入ってから、1日当たりの営業回数が増加傾向にある。そして、基本料金の客よりも中距離の客が増えてきている。

（住宅販売会社）…遊休地所有の法人が賃貸マンションを検討し、受注が増えている。

（その他非製造業[飲食料品卸売業]）…前年比105%くらいいっているが、売れている商品が前年と異なる。高価格帯の商品は鈍く、低価格品というか、インスタントラーメン、缶詰といったすぐに食べられる商品の売上の伸びが良い。

○「変わらない」

（商店街）…前年から新型コロナウイルスの影響が続いており、集客に苦勞している。今年はここにきて大雪になり、通行量や来客数の減少が著しくなっている。

（コンビニ）…売上は前年比で79%と相変わらず低調である。ここ数か月でみると悪いままで横ばい状態できており、落ち込みもなく上昇もみられない。

（その他専門店[食品]）…当県の新型コロナウイルス感染者数は落ち着いているが、首都圏等の緊急事態宣言が延長されたことで冬の誘客ができなかった。市内での雪祭りも中止となり、悪い状況に変わりはない。

（その他小売[ショッピングセンター]）…緊急事態宣言発出後、客の動きは今一つ低迷している。その傾向は今後も余り変わっていない。

（高級レストラン）…夜の営業は予約制としているが、営業は週に1回か2回しかしていない。営業しても1組か2組の予約しかない。

（通信会社）…コロナ禍が長引いている影響で再び巣籠り需要が出てきている。スマートフォンの利用時間が増え、動画配信を利用する人も増えている。このため、自宅でのWi-Fi環境が必須となり、自宅のインターネット設備を準備する家庭が再び増えてきている。また、CS等のテレビサービス利用者も高齢者を中心に若干増えている。

（観光名所）…1月下旬から2月上旬に掛けて冬のイベント等で誘客を図ったが、大雪や低温、さらには新型コロナウイルスの影響で効果はみられなかった。周辺の温泉施設等をみてもガラガラな状態で、休業又は週末のみの営業に切り替えているところが増えている状況である。

（食料品製造業）…緊急事態宣言は解除になるが、今のところ人の動きはほとんど変わっておらず、売上も同様に回復の兆しが見られない。

（広告業協会）…新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、広告市場もやや上向き傾向に転じている。しかし、まだまだ先行きに不安感があり、ここ数か月と同様、売上は前年を大きく下回っている状況である。

（公認会計士）…客の月次、決算状況から判断している。飲食店関係、対面サービス業、小売業は相変わらず低空飛行であるが、売上は落ち着いてきている。建設業は例年ベースに戻ってきており、売上が増加している企業も

出てきている。全体としては3か月前と変わらない。

(新聞社[求人広告])…求人数は前年比90%ラインとなり、それほど厳しい数字ではない。しかし、コロナ禍であり、おりに食っている飲食、流通、サービス等の主要業種の件数が激減しており、上向き状態とはいえない。

(職業安定所)…新規求人数、有効求人数共に3か月前と比較すると大きな動きは見られない。

○「やや悪くなっている」

(スーパー)…客単価は106%、買上点数は104%と、まとめ買いの傾向は続いているが、低価格志向が高まっているようである。競合店の価格帯も下がってきている。

(乗用車販売店)…半導体の不足により納期の掛かる車が多くなってきている。

(旅行代理店)…旅行需要はGo To Travel キャンペーンの一時的停止により、個人も団体も新規申込みはほぼない状況である。緊急事態宣言が解除されつつあるがGo To Travel キャンペーンの再開に至らない限り厳しい状況に変化はなく、観光業界の落ち込みはより深刻さを増している。

(出版・印刷・同関連産業)…売上高は3か月前は前年同月比10%の落ち込みであったが、今月は20%弱の落ち込みとなっている。

(建設業)…競争案件の主だった受注がない。

(輸送業)…世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、海上コンテナ不足が発生し、輸出・輸入関連貨物がスムーズに動いていない。また、国内貨物の動きも良くない。2月の売上は前年比で10%減少、一昨年比でも12%の減少見込みである。

○「悪くなっている」

(一般小売店[酒])…やっと少しずつ回復傾向にあったところでの首都圏や主要都市での緊急事態宣言や、当地域での新型コロナウイルス感染者数の増加により、前年の一番ひどい時期と同じくらい売上、販売量共に落ち込んでいる。客のなかでは、閉店を決めた店や今月一度も納品がない店もあり、本当に切迫した状況に追い込まれている。

(一般レストラン)…東京を中心とした緊急事態宣言発出後、明らかにそれが原因で来客数の更なる減少が起きている。ランチタイム、ディナータイム含めて、これまでの2割程度の客しか来ない厳しい状況が続いている。

(観光型ホテル)…今月一杯休業措置を講じ、来月から営業再開予定ではあるが、予約状況は芳しくない。緊急事態宣言が全国で解除となり、Go To Travel キャンペーンが再開するまで厳しい状況は続く。

(設計事務所)…ゼネコンからの問合せが非常に増えている。これまでは各社、独自の営業努力で受注を確保していたとみられるが、官民間問わず、発注案件数の減少、規模の縮小傾向にあり、目玉案件の受注を目指す動きが加速し、ダンピングに拍車がかかり悪化することを懸念している。

(人材派遣会社)…飲食系、販売系のオーダー等が全く伸びてきておらず、景気回復は見込めない状況である。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(食料品製造業)…ワクチン接種が始まることに加え、3月は人が移動する月であること、4月以降は東北デザインレーションキャンペーンもあることから、大いに期待したい。

○「やや良くなる」

(コンビニ)…新型コロナウイルス感染対策のワクチンの普及に期待している。

(家電量販店)…東京オリンピックが開催されるという前提だと、テレビ、レコーダー関係が間違いなく上向きになっていく。新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでいけば、アウトドア関連商品も動きが活発になってくるので期待できる。

(一般レストラン)…新型コロナウイルスワクチンの接種が始まってきているので、それに期待しているが、やはり時間は掛かる。3月は歓送迎会があるので、一番悪いときと比べれば若干良くなるのではないかとみている。

- (通信会社) …新型コロナウイルスワクチンの接種が予定どおり始まれば、今よりも市場に動きが出るとみている。
- (金属製品製造業) …新型コロナウイルスの感染状況、特にワクチンの効果検証が出てくると、それによって景気の動向が変わると考えている。良い結果が出れば、受注状況の改善が更に進む。
- (金融業) …前年は自粛した春季の祭りが今年は開催される方向で進んでいる。ワクチン効果はもう少し先になるとみられるが、Go To キャンペーンが再開されると第3波収束への期待感もあいまって消費は盛り上がりを見せるものと予想している。
- (広告業協会) …現在のような感染者数の減少状況が続けば、観客数は制限されてもプロ野球やJリーグが開幕され、前年は中止に追い込まれたイベント、地域の祭り、Go To キャンペーンなどが復活し、景気上昇ムードが醸成される。
- (経営コンサルタント) …感染者の減少傾向に加え、ワクチン接種も始まり、新型コロナウイルス終息への希望が消費の背中を押すことを期待している。
- (人材派遣会社) …ニューノーマル時代に向けて、中堅中小企業が新しい事業に着手し始めているケースが増えてきている。それに伴い、人材を採用する動きも徐々に出ており、問合せが増えてきている。派遣ではなくて正社員で採用したいとか、新卒採用を復活させるなどの話が、それほど業界に偏りなく出てきている。
- (新聞社[求人広告]) …新型コロナウイルスの感染状況次第だが、感染者数減やワクチン接種開始への期待により、前年ほどの落ち込みもなく、多少上向き感が出てくるとみている。ただし、本来の水準に戻るまでの景気回復状態になるとはいえない。

○「変わらない」

- (商店街) …全国的に自粛が解除されるので、先行きの不安感は少なくなる。しかし、急激な緩和や Go To Travel キャンペーンの再開等は逆にその後のリバウンドへの不安にもつながる。
- (百貨店) …良くなるのも悪くなるのも新型コロナウイルス次第である。今の状況が続けば新型コロナウイルスと共存することがふだんの生活となり、元に戻ることはなくてもある程度の消費動向は回復すると考える。
- (衣料品専門店) …一般の人へのワクチン接種がある程度進み、企業の出張等が解禁されたり、旅行に出掛ける人が少しずつ増えてたりしてくれば回復の兆しが見えてくるが、現状をみる限り現在の状態が続くことが予想される。
- (旅行代理店) …ワクチン接種、Go To Travel キャンペーンの再開、東京オリンピック開催など国家プロジェクトの実施が大きな鍵となる。いずれも遅れや中止などが決定された場合には、観光業界の将来の景気は確実に今よりも悪化する。
- (土石製品製造業) …新型コロナウイルスが終息しない状況では好転は期待できない。市民への迅速なワクチン接種の広がり期待している。東京オリンピックが開催できるかどうかは景気判断には重要な要素である。当業界は次年度も前年比 85%程度の需要見込みと厳しい状況である。
- (通信業) …年度末に掛けてまだ厳しい状況は続くと思われるが、年度明けに向けて新たな施策を講じていく必要がある。

○「やや悪くなる」

- (スーパー) …内食需要の高まりにより売上は確保できているが、テイクアウトの需要拡大や収入の減少等により売上は悪化する可能性がある。
- (職業安定所) …年度末の期間満了による退職で求職者数が増えるのではないかと。求人数は多くないことから、有効求人倍率が下がるのではないかとみている。

○「悪くなる」

- (住関連専門店) …現在コロナ禍で営業がなかなかうまく動けない。また、テレワーク等を活用しながら手当はしているが、なかなか受注に結び付かない。受注量の減少によって悪くなる。